

Oh!Me

インターネットと連動した
【滋賀生活情報紙】



この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

vol.410・3月29日号 毎週木曜発行 **4面にプレゼント情報!**

●Oh!Me 編集室/株式会社ヤマブラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927
●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603 発行部数:100,000部
●発行/毎日新聞大阪本社開発宣伝部:大阪市北区梅田3-4-5

滋賀ガイド www.gaido.jp

— 創作の感動を共有していきたい — 「DECOクレイクラフト」を滋賀で広め続けて25年



DECOクレイクラフトアカデミー上級師範
くつみず なおこ
沓水 直子さん
(長浜市在住・58歳)

素敵な人



クラフト教室を自宅で行うことにこぎつけた。また並行して数々の展示会を開くなど、その魅力を広めることにも力を注いだ。さらに技術向上を目指して、東京本部教室での上級カリキュラムにも挑戦。上級師範の資格も取った。「地元で習っていたら、そこまでしなかったかも知れませんね。名古屋に通わなければ習えなかったことが、逆に励みになりました。遠方へ習いにいけない人にもこの魅力を伝えたい……。そんな思いに背中を押されてきたように思います」沓水さんは多くの人を教え、師範の資格を取った人も30人を超えるという。現在、6カ所の教室で指導に当たっているが、それだけに止まらず、長浜きもの大学講師、米原市まなびサポーター、長浜市生涯学習レディースクール、子どもの土曜まなび座講師も引き受け、築き上げてきた出会いは25年間で600人以上にものぼる。

15年間習い続けている生徒さんも!

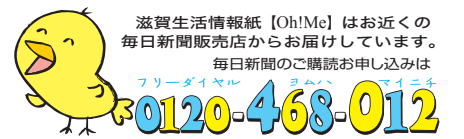
DECOクレイクラフトの魅力は陶器などと比べると、その手軽さにもある。軽量粘土が開発されてからは、さらに手軽さが増した。他の素材と組み合わせることも可能で、保存さえ良ければ作品は半永久的にもつという。



最近、女性ばかりが楽しむのはもったいないと、男性を対象にした「おやじ粘土教室」も開講。作品が絆となって、人間関係が改善されたという人もいるというからうれしい。

「沓水先生は理論と工夫を交えて教えてくれるので分かりやすい」「色の使い方が絶妙」と、生徒からの信頼も厚く、15年間習い続けている人もいると聞いてビックリさせられた。(取材・福本)

NABAN ART ROSE 沓水直子
●TEL:0749-64-1102



DECOクレイクラフトは、陶芸風の味わいを持つ粘土工芸で、手軽に形が作れるうえ、本物そっくりに仕上がるので、初めて接した人はビックリするという。沓水直子さんは県内初の師範で、さらに上級師範の資格を取るなどの努力を重ねて25年間、この魅力を広め続けてきた。

DECOクレイクラフトとは?

DECOクレイクラフトは1981(昭和56)年、粘土工芸作家の宮井和子さんが開発した工芸手法。材料は石粉粘土と樹脂粘土で、陶器、布、生花などのさまざまな質感を出しながら花や器、人形、オブジェなどを創作していく。宮井和子さんが81年に発表してから、またたく間に愛好者が増え、今では国内はもちろん、19カ国にまで愛好者が広がっているという。沓水さんもその一人で、27年前、宮井さ

んの作品を見てその素晴らしさのとりになった。沓水さんが習い始めた頃は、滋賀に教室がなく、しかも、2人の子どもの育児に追われる毎日だった。しかし「やりたい!」という気持ちを押しさえられず、月1、2回、子どもを義母に預けて名古屋へ2年間通い続けた。その努力の結果、師範の資格を取得した。

感動を共有 幸せの連鎖を起こしたい

沓水さんの原動力は「自分がDECOクレイクラフトを通して味わった感動を伝え、幸せの連鎖をおこしたい……」というもの。幼稚園教諭の経験もあり、教えることに人一倍、意欲的だった。こうして89年、湖北初のDECOクレイ



現在、6カ所の教室で指導に当たっているが、それだけに止まらず、長浜きもの大学講師、米原市まなびサポーター、長浜市生涯学習レディースクール、子どもの土曜まなび座講師も引き受け、築き上げてきた出会いは25年間で600人以上にものぼる。

眠っている貴金属ジュエリーは
ありませんか。

安心・信頼の貴金属ジュエリー買取システム
RE:TANAKA
[リ・タナカ]



金・プラチナ・銀の
ジュエリーを
お買取り
致します

[古物営業許可NO.第1329号(彦)]

純金地金、各種金貨売買
宝石・貴金属・金地金・メガネ・補聴器

滋賀県下唯一 田中貴金属工業 金地金特約店

川原崎

tel. 0749-22-0838

滋賀県彦根市銀座町4-24 ●営業時間 9:30~18:30 ●定休日 木曜日・日曜日

「筆墨に託された
中国故事文藝」
「歴史人物のImage展」

4/7(土)~7/1(日)

●土曜講座

4/28(土) 午後1時~2時迄
日記を読む
~ある平安貴族の日常について(1)~
参加費 500円

書道文化と世界を学ぶ博物館

観峯館 TEL 0748-48-4141

滋賀県東近江市五個荘竜田町136
●開館時間 9:30~17:00(入館16:00迄)
●月曜休館 <http://www.kampokan.com> ※団体・HP割引あり

春季企画展 四月七日から開催!
観峰館
当館では3月21日(水)~4月6日(金)までの期間、展示替えのため休館いたします。